

別記様式第2号（第4条関係）

工事履行報告書

作成日 令和7年10月6日

工事名	令和7年度 ○○建設工事
工期	令和7年7月15日から 令和7年12月26日まで (工期の1/2経過日 令和7年10月5日)

月別	予定工程 % () は工程変更後	実施工程 %	備考
令和7年 7月	15.5% ()	16.5%	
令和7年 8月	33.0% ()	35.0%	
令和7年 9月	48.5% ()	51.5%	
令和7年10月	55.4% ()	58.4%	
令和7年11月	77.5% ()		実施工程には、報告時点までに実施した工程の割合を記載する。
令和7年12月	100.0% ()	%	
予定工程には、工事工程表を基に予定している工程の割合を記載する。ただし、工期の1/2の属する月のみ工期の1/2経過時点での予定工程を記載する。 この記載例の場合、中間日の属する10月のみ10月5日終了時点での予定工程を記載すること。		%	
		%	
		%	

実施工程に記載されたパーセンテージが、①及び②をどちらも上回る数値であれば、要件を満たすものとなる。

- ・工期 : 165日
 - ・工期の2分の1: 83日 (2分の1経過日: 10月5日)
 - ・工程表により工期の2分の1 (10月5日) を経過するまでに実施すべき作業量: 55.4% (①)
 - ・既に行われた作業に要する経費が2分の1以上 : 50.0% (②)
- なお、2年度にわたる工事（それぞれの年度ででき形が設定されている場合）は、当該会計年度の工期、予定工程を記載する。
- ・工期の考え方: 初年度であれば着工日～3月31日まで、翌年度であれば4月1日～完了日まで
 - ・工程の考え方: それぞれの年度のでき形を100%として計算すること
- 例えば、当該年度のでき形が40%の場合は、40%を100%として割合を計算し直すこと。

要件をすべて満たしていれば工事監督員が押印する。

工事監督員	工事監督員	現場代理人	主任(監理)技術者
印	印	印	印

(注)

- 1 予定工程は、完成までの予定でき形（2年度以上にわたる工事は、当該会計年度における予定でき形）比率の累計を記入すること。ただし、工期の1/2の属する月のみ、工期の1/2経過時点での予定工程を記載する。
- 2 実施工程は、当該提出月までのでき形（2年度以上にわたる工事は、当該会計年度における提出月までのでき形）比率の累計を記入すること。